

# みさき

56号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2019年5月10日発行



## 主な内容

特集 美咲町の明日を切り拓く 青野町長所信表明 ②~③

予算特別委員会 ④~⑦

こんなことが決まりました ⑧~⑨

9議員が町政を問う ⑭~⑳

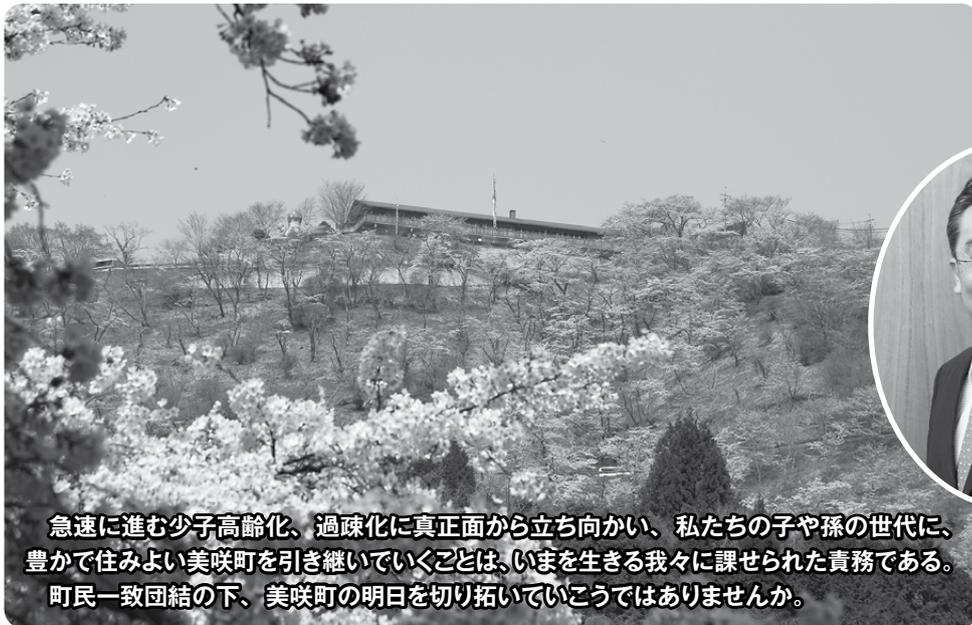
大きく育て美咲の子ども 美しく咲く桜のまちで

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

# 特集

## 美咲町の明日を切り拓く

## 青野町長所信表明



急速に進む少子高齢化、過疎化に真正面から立ち向かい、私たちの子や孫の世代に、豊かで住みよい美咲町を引き継いでいくことは、いまを生きる我々に課せられた責務である。町民一致団結の下、美咲町の明日を切り拓いていこうではありませんか。

### 福祉施策充実による元気な地域づくり

社会福祉協議会との連携強化、国保健診の充実、黄福タクシーの障がい者利用の試行実験など福祉施策充実により、健康で快適な暮らし、元気な地域づくりにつなげていきます。



### 「小規模多機能自治」実現に向けて

「小規模多機能自治」の核となる13の「協働のまちづくり協議会」を順次訪問し、地域の人たちと意見交換を行いながら、役場一丸となって「地域力」の強化に取り組んでいきます。



### 公共施設再整備の計画の検討

令和元年度中に、旭総合支所付近の再整備計画、柵原中学校区の学校建設について、方向づけを行います。また、亀甲エリアについては、集会所整備と合わせて検討します。



### 積極的な不登校対策

不登校の生徒を支援する教員を中央中学校に配置し、小学校とも連携を図りながら積極的な不登校対策を行い、生き生きと学校生活を送ることができる環境づくりを行ってまいります。



### 役場機構改革により利便性の向上

機構改革を実施し、理財課、地域みらい課、くらし安全課を新設します。また、住民課と税務課を統合し住民税務課とし窓口サービスの利便性の向上を図ります。



### 農林業振興へ事業の新設・拡充

ショウガなどの種苗に対して補助制度を新設します。鳥獣被害対策として、狩猟免許取得経費の全額補助、「はこわな」の貸与数を増やします。適切な森林管理を促進するべく事業の新設、拡充を行います。



### 早期災害復旧への取り組み

昨年の豪雨災害からの早期復旧に向けて取り組みます。また、防災カメラを増設し、15台体制とするともに、柵原文化センターを改修し避難所としての機能充実を図るなど防災体制を強化します。



## 議会からの質疑

#### 地域創生社会の実現に向けた取り組みとは

藤井智江 議員



**問** 地域創生社会の実現に向けた取り組みとは、具体的にどのようなものか。

**答** 子どもから高齢者までが支え合う地域づくりを合言葉に、地域創生社会の実現を見据えた地域づくりを進めています。各課や組織の枠を超えて横断的に取り組んでいこうとするものです。今後も引き続き連携し、実現を目指してまいります。

#### 柵原地域の学校整備事業進行の方針は

延原正憲 議員



**問** 柵原地域義務教育学校整備検討委員会から出される答申を受けて事業を進めていく方針でよいか、確認したい。

**答** これまでの検討委員会の取り組みや議会特別委員会における協議内容も参考にしながら、調査検討を具体的に進めていきたいと考えています。

#### 決算審査での要望事項の反映は

松田英二 議員



**問** 平成29年度決算審査において、要望事項をまとめた審査報告書を提出しているが、新年度予算および行政施策などの運営に反映されているか。

**答** 多くの指摘に対し真摯に受け止めている。特に行政組織の見直しや公共施設などの総合管理計画の早期推進など指摘をいただいたが、可能な限り反映していると考えています。



3日間にわたり予算特別委員会を開催し、31年度予算について各委員からの意見を集約。

各委員が予算や事業内容をチェック



予算審査において各議員から出された指摘事項70項目をまとめた報告書を松田委員長、左居副委員長から貝阿彌議長へ提出。

予算特別委員会の報告書を貝阿彌議長へ提出



予算特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を貝阿彌議長、松島副議長から青野町長へ提出。

議会からの要望書を青野町長へ提出

平成31年度  
当初予算案

70項目の意見を付して  
全会一致で承認

承認

# 予算特別委員会からの報告

予算特別委員会は、新年度で執行される予算が適正なものであるかを確認するため、全ての課が所管する予算について審議を担当しています。

委員長／松田英二 副委員長／左居喜次 ほかに全議員を委員とする13人で審議しています。

## 全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見

### 行財政改革大綱の見直し

合併特例の終了や人口減少による地方交付税減額など今後予測される財源の減少を見極めた上で、早急に行財政改革大綱の見直しを行い、町を経営する方向性を指し示し「町勢振興計画」など各種の計画に反映させ、強い危機感を持って本町の将来に向けた展望を広く町民に訴えかける必要性を強く感じるものである。

意見

### 適切な課税と滞納整理

予算の歳入を確定させる上で町税の算定方法は前年度実績でなく過去3年平均で算出し、徴収率も100%に近いもので行われるのが望ましい。また、滞納整理額も目標数値を立てて100%の回収率を目指すべきであり、これらを合わせて歳入額を算出し住民要望に応えるための予算編成に努めなければならない。

意見

### 適正な人員配置計画

国が唱えている働き方改革で注目を浴びているAI・RPAそしてICTを活用した職務の省力化と効率化を推奨し職員の採用および適正な人員配置に努めなければならない。現状においては新規採用が困難を極める保健師などの専門職については、既存職員による専門職育成も視野に入れた配慮が必要である。

意見

### 業務の引き継ぎは細心の注意

職員の人事異動などによって業務の引継ぎが行われる際に、町民との約束事が新任担当者へ十分に引き継がれなかった場合トラブルが発生し、そのトラブルが原因となって後年他の事業にまで影響を及ぼす可能性も出てくる。業務の引き継ぎに際しては伝える側も受ける側も細心の注意を払って臨まなければならない。

意見

### 要望対応は迅速に

各自治会などから行政に対する要望書が提出されている。過去5年間の状況は、約1/3が実施されていない。対応可能な要望であれば国・県の補助金、過疎債や基金を活用して早期の解決を図ることが住民との信頼関係構築にもつながるものであり、要望事項の実施状況を把握できる体制の整備を強く望むものである。

意見

### 合併特例債の有効活用

町長は今後の本庁舎や旭総合支所の整備に関して合併特例債の活用について言及している。合併特例債の有効期限まで残された時間は6年間。決して余裕のある時間ではない。本町に残された特例債枠52億円の有効活用策について広範囲にわたる協議を早急に進め31年度末までにはその道筋が示されることを望むものである。



- 9月定例会：前年度決算を審査・認定
- ▼
- 議会からの指摘・意見をとりまとめ
- 新年度予算などへの要望書を提出
- ▼
- 3月定例会：新年度予算案を審議・承認

予算特別委員会では、決算審査で指摘した内容が「新年度予算に反映されているか」という視点で審査を行いました。

# 予算審査 私の意見!

一般会計 100億5,120万円(前年度比3.5%増)  
 23特別会計 70億3,447万円(前年度比3.1%増)

全議員13人を委員とする平成31年度歳入歳出予算特別委員会が設置され、3月14日から3日間にわたり予算審査を行いました。

今回の審査では、決算審査における議会からの指摘事項が新年度予算編成および役場の運営にどのように反映されているのかといった点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された70項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

## 福祉・教育

主な事業 高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、学校教育など

民生費	28億8,378万円
教育費	8億6,801万円



藤井委員

### 保健師などの人員確保

保健師の人員減に伴う適正配置と人員確保を積極的に行うように求める。



山田委員

### 放課後児童クラブの展開

児童の健全育成に向けた放課後児童クラブの全町的展開と拡充を求める。



岩野委員

### 通学路の安全対策

支障木伐採など通学路における子どもたちの安全対策への十分な配慮を求める。

## 安心・安全

主な事業 公共施設管理、防災、国際交流、情報通信、ごみ処理など

総務費	14億5,421万円
衛生費	9億2,915万円



左居委員

### 総合的な防災訓練

全町に周知徹底した上で総合的な防災訓練を実施するように求める。



松島委員

### 情報通信機器の更新

ネットワークなど情報通信機器の更新は先を見越した対応を求める。



金谷委員

### 地域づくりの支援体制

集落支援員による地域づくり支援は地域へ出向いての対応を求める。

## 産業・建設

**主な事業** 農林業振興、道路整備、観光災害復旧、企業誘致など

農林水産業費	7億1,710万円
土木費	10億4,689万円
商工費	8,105万円



江原委員

### 宅地災害には手厚い対応

台風や大雨による災害などで宅地が被災した場合には手厚い対応を求める。



貝阿彌委員

### 要望書への迅速な対応

自治会などからの要望書への回答は迅速かつ適切に行うように求める。



延原委員

### 補助金対象事業のPR

農林業に従事する人に対して有利な補助金対象事業のPR強化を求める。

## 特別会計(抜粋)



林田委員

### 配食サービスの拡充

高齢者宅への配食サービス事業は全町を対象に取り組めるよう拡充を求める。



山本委員

### 4K8K放送の周知

みさきテレビの4K8K放送に向けた町民への周知と丁寧な説明を求める。



形井委員

### 水の購入料金見直し

広域水道企業団から購入している水の購入料金を検証し見直しの検討を求める。

### ◎国民健康保険事業

17億4,456万円

### ◎介護保険事業

24億6,499万円

### ◎みさきネット事業

7億5,866万円

### ◎7簡易水道事業

9億0,185万円

### ◎3下水道事業

7億9,005万円

### ◎23特別会計合計

70億3,447万円

以上のような審議を経て、美咲町議会は平成31年度一般会計・特別会計予算を**全会一致で承認**しました。

# 防災カメラ設備更新

一般会計新年度予算・人事案件など65件の議案が議決されました。

## 学校施設長寿命化計画策定事業

学校施設の長寿命化計画を策定し、各学校施設の長寿命化を図る。

〔学校施設長寿命化計画策定事業費 907万円〕



## 美咲町産地作りパワーアップ事業

町振興作物の種苗購入費に対する助成を行い、町の産地作りを強化する。

〔農業振興費 672万円〕



## 条例

### 美咲町開発事業の調整に関する条例の一部改正

町長は勧告を受けた者が正当な理由なく勧告に従わないとき、氏名住所(法人は名称・所在地)・勧告内容を公表できるように改正した。

## 請願・要望

後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める意見書提出の請願  
岡山県社会保障推進協議会  
会長 三上 雅弘  
低所得者は守られている内容であり賛成多数で**趣旨採択**とした。

消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の請願  
津山民主商工会  
会長 池田 淳一

社会保障制度の充実には必要な制度であるため賛成少数で**不採択**とした。

特別養護老人ホーム白寿荘の新築移転に伴うご協力の要望  
社会福祉法人中央福祉会  
理事長 内田 康雄

地域の福祉向上のため必要な施設であり全会一致で**採択**とした。

## 条例

課の再編成を実施  
課設置条例の一部改正  
「まちづくり課」を「理財課」「地域みらい課」に、「情報交通課」を「くらし安全課」に、「税務課」「住民課」を「住民税務課」に改める。

## 人事

副町長の選任に同意  
副町長の選任が提案され賛成多数で同意した。任期は令和5年3月31日までの4年間



津山市弥生町 忠政 堅之(新任)

教育長の選任に同意  
教育長の選任が提案され賛成多数で同意した。任期は令和4年3月31日までの3年間



美咲町打穴下 黒瀬 堅志(新任)

農業委員の選任に同意  
農業委員の任命について提案され全会一致で同意した。任期は令和2年4月19日までの1年間



美咲町高下 重蔵 和宏(新任)

# 3月議会

でこんなことが  
決まりました

# より鮮明に

3月4日～22日まで定例議会が招集され

## 役場ネットワーク機器更新事業

役場内のネットワーク機器の更新し、業務の促進を図る。

〔情報化整備事業費 1億1,738万円〕



## より鮮明に、防災カメラなどの設備更新事業

災害時に川の増水などの画像がみさきテレビで鮮明に見えるようにする。

〔防災情報通信設備整備費 4,048万円〕



## 意見の分かれた議案

○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		貝阿彌議員	松島議員	山本議員	岩野議員	江原議員	金谷議員	松田議員	林田議員	左居議員	延原議員	形井議員	藤井議員	山田議員
議案第64号	副町長選任について	議長	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
議案第65号	教育長選任について	議長	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○
請願第1号	後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める意見書提出の請願	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願第2号	消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書の提出の請願	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×

### 【議案に対する討論】

【請願第1号】 後期高齢者医療の窓口負担の見直しにあたり、原則1割負担の継続を求める意見書提出の請願(趣旨採択)	【反対討論】今でさえ受診抑制が心配される状況にあり、窓口負担が2割になれば町民の深刻な受診抑制の懸念がある。よって採択の上、国に意見書を送付すべきである。	藤井議員
	【賛成討論】高齢者が増え福祉費が高額になる事を考えれば、低所得者は守られるので、2割負担もやむを得ない。趣旨採択に賛同する。	金谷議員
【請願第2号】 消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書の提出の請願(不採択)	【反対討論】逆進性の強い消費税増税、奇々怪々な軽減対策は、町民・小規模事業者の暮らしへの打撃が大きすぎる。よって採択の上、国に意見書を送付すべきである。	藤井議員
	【賛成討論】国が決めたことで、大勢の人はすでに増税されることを了解している。それを変えることはできない。不採択を支持する。	延原議員

# 委員会 の活動

## 総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、まちづくり課、情報交通課、税務課、徴収対策室、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／山田雄二、松田英二、岩野正則、松島 啓の6人で審議しています。

### 【総務課】 役場の機構改革

問 理財課、地域みらい課、くらし安全課、住民税務課を新設するメリットは。

答 効率的で効果的な事務執行の推進、危機管理体制の強化など住民サービスの向上に努めたい。

### 【まちづくり課】 再生可能エネルギー推進事業

問 再生可能エネルギー推進事業は今どうなっているか。

答 平成23年頃からの計画であるが、町主体の事業化を断念し、民間事業者に事業継承してもらったことになった。

### 【柵原総合支所】 消防・防火設備取り替え工事

問 消防・防火設備取り替え工事の内容は。

答 大ホールの天井修理のほか窓ガラスや防火扉の設置を9月末までに予定している。安全な防災拠点施設にするための施設改修。



八島田シネル(赤磐市地内)

県が事業主体である美作岡山道路の現地視察(佐伯IC～吉井IC)を行った。残る瀬戸JCT～瀬戸IC、英田IC～柵原IC～吉井ICの早期全線整備が望まれる。

### 【上下水道課】 高清水貯水池の改修

問 高清水貯水池の現状及び改修計画について。

答 40年経過し、老朽化が進んでいるため改修する。令和元年度内に完成を予定している。

### 【建設課】 災害復旧の取り組み概要

問 平成30年度の災害復旧の取り組みは今どうなっているか。

答 平成30年度は、公共・農林など合わせて10億円を災害復旧として計上した。入札はほぼ完了し、令和元年度中に完成を予定している。

### 【産業観光課】 狩猟免許取得に係る経費補助

問 狩猟免許取得に係る経費補助の具体的な内容は。

答 昨年まで半額補助していたが、平成31年度からは全額補助。3年間の実施を予定している。

# 民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民課、保険年金課、健康推進課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／金谷高子 副委員長／形井 圓 委員／藤井智江、左居喜次、林田 実、江原耕司、貝阿彌幸善の7人で審議しています。

## 【福祉事務所】 緊急通報装置設置事業

- 問 緊急通報装置は1人暮らしの高齢者が対象であり、2人暮らしの高齢者は対象にならないか。
- 答 社会情勢も変化しているので制度も見直しをする時期に来ている。

## 【健康推進課】 診療所施設管理費

- 問 おおはが大井和診療所が閉院されるが、跡地と建物はどうなるのか。
- 答 今のところはまだ決まっていない。福祉事務所が所管している友愛荘が隣接しているので、今後協議していく。

## 【住民課】 墓地公園経常管理費

- 問 町営墓地を全く使用せず返した場合、返還金はどうか。
- 答 使用料の返還金について1年未満で95%、2年で90%、3年で85%、4年で80%、5年で75%、5年以上は返還無し。



里地内

一般財団法人が経営していた西川診療所が閉院し、新しく町が経営する美咲町西川診療所が4月1日より開院となる。地域医療として、社会医療法人緑社会金田病院に管理委託する。

診療日は、毎週火・木・金曜日の午前中です。

## 【教育総務課】 保育園広域入所委託料

- 問 広域入所委託料は、保育園だけか。幼稚園は対象にならないのか。
- 答 保育園、認定こども園には支払う。幼稚園には支払わない。

## 【保険年金課】 国民健康保険事業

- 問 葬祭費の3万円は安いのではないか。他市町村では5万円支給をしているところがある。
- 答 5万円という市町村が多くなってきている。今後、増額を検討していきたい。

## 【健康推進課】 健康増進施設管理費

- 問 香花温泉「ほほえみの湯」の現在の状況は。また、今後の運営についてどう考えているか。
- 答 平成30年度に改修し、温泉として再開したが、慢性的な赤字である。また、施設が老朽化しており、今後は見直しをする必要がある。

# 組合議会の報告

組合議会とは、行政上の目的別に他の市町村と共同で事務処理を行い、目的の事業を効率的に行う団体組織

## 津山圏域 衛生処理組合

(津山市、鏡野、美咲町)  
2月14日、定例会を開催し31年度組合金計予算5億8,286万円、緑水園体育館施設条例の一部を改正する条例など4議案を審議し、賛成多数で可決した。

## 勝英衛生施設組合

(美作市、西粟倉村、勝央、奈義、美咲町)  
2月19日、定例会を開催し、31年度組合金計予算9,780万円、30年度補正予算(第2号)の2議案を審議し、全会一致で可決した。

## 津山圏域消防組合

(津山市、鏡野、勝央、奈義、久米南、美咲町)

2月22日、定例会を開催し、31年度組合金計予算2,528万円、30年度補正予算(第1次)な

## 津山広域事務組合

(津山市、鏡野、勝央、奈義、久米南、美咲町)

2月22日、30年度補正予算(第2次)、岡山県市町村総合事務組合からの脱退の2議案を審議し、全会一致で可決した。

## 津山地区 農業共済事務組合

(津山市、鏡野、久米南、美咲町)

2月22日、定例会をど4議案を審議し、全会一致で可決した。

## 久米老人 ホーム組合(静香園)

(津山市、久米南、美咲町)

2月27日、31年度組合金計予算1億5,777万円、30年度補正予算(第2号)など5議案を審議し、全会一致で可決した。

## 柵原・吉井特別養護 老人ホーム組合

(赤磐市、美咲町)  
3月27日、定例会を

## 柵原・吉井・英田 火葬場施設組合

(美作市、赤磐市、美咲町)

3月27日、定例会を開催し、31年度組合金計予算1,354万円、30年度補正予算(第2号)など4議案を審議し、全会一致で可決した。

## 岡山県中部 環境施設組合

(真庭市、美咲町)

3月28日、定例会を開催し31年度組合金計予算3億280万円を審議し、全会一致で可決した。

(津山市、鏡野、勝央、奈義、美咲町)  
2月14日、定例会を開催し、31年度組合金計予算15億8,855万円、行政不服審査会委員の選任など4議案を審議し、全会一致で可決した。  
2月25日、臨時会を開催し議長、副議長、監査委員を選出した。



新築移転した消防組合柵原出張所(吉ヶ原地内)

# 町政を問う

一般質問は町民を代表し、  
町長・教育長などに、  
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
14	延原 正憲	1. 美咲町第二次振興計画の見直しは 2. 実効ある有害鳥獣の駆除対策を
15	形井 圓	1. 土地開発業者への指導強化を 2. 農作業安全のため農道の舗装が必要 ◇ 集会所などの管理実態は ◇ 一般廃棄物収集運搬業務委託の入札方法は
16	左居 喜次	1. 農林業をどう捉えるのか 2. 庁内改革に向けどう行動をしたか
17	山田 雄二	1. 美作岡山道ルート of 混乱を正せ 2. 柵原中学校建設の具体化は
18	金谷 高子	1. 人口減少が加速している対策は 2. 精神障がい者へも医療費助成の充実を

ページ	議員名	質問内容
19	山本 宏治	1. 旭バイパス今後の取り組みは 2. 旭地域の公共施設再配置は
20	藤井 智江	1. 柵原中学校建設候補地の選定は 2. 総合的な健康づくりのため専門職の採用を ◇ 自治体戦略2040構想の周知を ◇ 個人情報の取り扱いを慎重に ◇ 一人一人の人権を守るために
21	岩野 正則	1. 町史編さん資料の活用計画は 2. 農産物の特産化の取り組みは ◇ 行政財産の管理は
22	松島 啓	1. 情報発信で町のイメージアップを図れ 2. 総合戦略の新たな取り組みは

議会だよりには、2問まで掲載  
しています。  
掲載できなかった質問は◇で  
表示しています。



延原正憲 議員

# 質問 美咲町第二次振興計画の見直しは

## 答弁 第三次振興計画を策定する

**問**

平成25年度から10年間の町の将来の設計図である美咲町第二次振興計画「世界にはばたく『元気』な美咲町」は、中間年度の29年度に見直しすることになったのだが、いまだに見直し案も町民に示されていない。①見直し作業はどこまで進んでいるのか。②見直し案にはパブリックコメントを実施するのか。③見直しのための美咲町振興計画審議会の開催状況は。④町長の所信表明で示した政策をどのように

見直しに反映させるのか。

**答**

青野町長 ①④30年12月中に見直しを完了する予定で作業を進めていたが、私の政策「ひと輝くまち美咲」をこのまじづくりの計画に反映させるために、第二次振興計画を踏まえた上で、今後5年間の第三次振興計画を策定するよう準備を進める。②③第三次振興計画策定には審議会を開催した上で、原案を町民に提示して、パブリックコメントを実施したい。

### ◆美咲町の将来像◆

変革の時代に夢と希望を持ち、大胆な発想でさまざまな分野に向けて発展し、情報を発信していくことをイメージして。

# 世界にはばたく 「元気」な美咲町

個性を磨き魅力を高め、人もまちも活力があることをイメージして。

「美」しい自然の中で、色とりどりの“花”＝「人・もの」を「咲」かせます。

# 質問 実効ある有害鳥獣の駆除対策を

## 答弁 重点施策として強く推進したい



**問**

有害鳥獣による農作物被害の増加は、耕作放棄の増加、ひいては集落崩壊につながる深刻な課題である。

実効ある駆除対策を求める。

①捕獲用「はこわな」の整備は。

②先進地視察を参考に駆除鳥獣のジビエ活用への取り組みは。

**答** 牧野産業観光課長 ①30年度は予算120万円で「はこわな」19基を購入し、猟友会に貸与予定。

②30年度も120万円の予算を計上した。

**答** 青野町長 ①鳥獣被害の問題



ジビエの活用を

は重点施策の一つとして取り組みを強く推進する。

狩猟者を増やすため狩猟免許取得費用の全額補助制度を導入する。

また、捕獲補助制度の充実や、捕獲用「はこわな」の貸与を拡充する。

さらに、侵入防護柵の原材料支給制度を推進するなどにより農作物被害の減少に取り組みたい。

②ジビエ活用については、高額な事業費や、駆除隊員の高齢化や、獣肉販売経路確立などの課題もあり、先進地の事例を参考に慎重に検討したい。



形井 圓 議員

## 質問 土地開発業者への指導強化を

### 答弁 勧告に従わない場合は公表を検討

**問** 本町には開発事業の調整に関する条例があり、地域の適正な開発、事業の実施基準を定めている。町民の健康で快適な生活環境の確保に寄与する条例は、町民の安全を守るため町に課せられた責務である。

**答** 青野町長 開発事業の調整に関する条例に規定する届出をせず開発している事業が中央地域で3カ所、旭地域で1カ所を住民からの通報で把握している。業者へ直接開発届の提出、現場改善を指導している。届出、改善が見受けられない場合文書勧告し、勧告に従わない場合、事業者名の公表を検討する。次の段階として条例違反として刑事告発を行うこととなる。



危険な開発には指導の強化を

## 質問

### 農作業安全のため 農道の舗装が必要

### 答弁

できる限り要望に 応えていきたい

**問** 農作業において、作業用道路の舗装は作業に従事する者にとって安全に必要である。しかし、その道路の管理責任が、県か町か明確でなく舗装をされない道路がある。例を挙げると小原池から誕生寺池への川の傍に管理用道路があるが、舗装がされていない。河川管理用であろうと、農作業に多くの人々が利用しているのであれば舗装すべきではないか。

**答** 青野町長 耕作者の高齢化も進み、農道などの維持管理が困難となっている箇所もたくさんある。町としてできる限り地元の要望に応えらる。県の補助は採択条件が厳しいが、要望書をもとに現地精査をし、県に申請する。町単独で事業を行う場合、2人以上の関係者が必要であるが、できる限り要望に応えていきたい。



急がれる農道舗装



左居喜次 議員

## 質問 農林業をどう捉えるのか

### 答弁 農林業は美咲町の主幹産業だ



農林業活性化への対応を

**問** ①農林業活性化のために積極的な対応を望むが、本町では農林業をどう捉え、どのような政策を進めて行くのか。

②耕作放棄地解消に向けた対策を示せ。

**答** 青野町長

①農林業は美咲町にとって主幹な産業であり、農林業を元気にしていくことは、まさに美咲町の元気につながるかと考えている。

新年度予算の中にもシヨウガの種苗代の補助とか、林業では間伐材の搬出、また作業道の整備に対する補助など大幅な拡充や新設を行う。

②特効薬はないが、面積消化で推進できる水稲や酪農、販売価格で推進できるブドウとかシヨウガ、キュウリなどがある。こうしたものの組み合わせにより、一定所得を確保しながら農業経営を継続していくことが大切であると考える。

**問** 農林業では、就業してもすぐに収入が得られることはほとんどない。荒廃地、耕作放棄地の草刈りや伐採により、生活費部分を支援するといった政策は考えられないか。

**答** 青野町長

提案を踏まえさらに検討を重ねたい。

## 質問 庁内改革に向けどう行動をしたか

### 答弁 各課にまたがる案件を議論させる



機構改革でどう変わる

**問** 就任直後の12月定例会において、課題解決を強力に推進していくために庁内改革が必要不可欠であると所信表明をした。

今定例会では庁内改革に向けて、課設置条例の一部を改正する条例が提案され、所信表明どおり庁内の機構改革に着手し、各課の再編が進められる。

職員教育の基本的な部分において、今日までどのような行動を起こし、職員に対してどのような指導を行ったのか。

**答** 青野町長

本町の最重要課題は、少子・高齢化、過疎化、人口減少の克服である。

服である。

そして、急激な経済・社会情勢の変化を見ると、庁内の体制を再整備し、これまで以上にスピード感を持って各種施策を展開する必要がある。

就任以来、定例の幹部会議において各課にまたがる案件を議論させるようにした。

また、地域に向く際は、私はもちろんのこと、関係の複数の課や社会福祉協議会など、極力多くの関係者とともに話をしていく。

取り組みは緒についたばかりではあるが、引き続き各課がスムーズに連携できるように指揮監督をしていく。



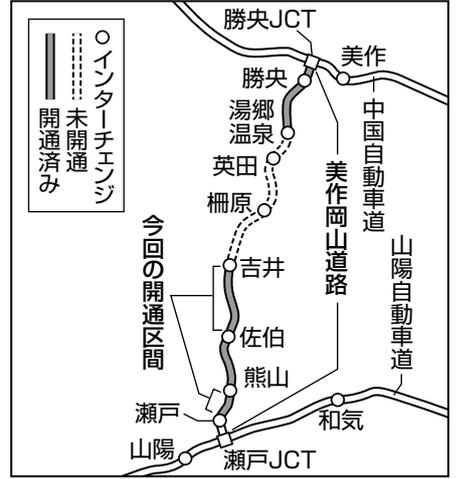
山田雄二 議員

質問

美作岡山道ルート of 混乱を正せ

答弁

混乱の責任の一端はありおわびする



問

前町長は昨年9月定例会で「平成15年にルートが決まった」と言ったにもかかわらず、「町長に就任したのは平成21年からだ。平成15年から21年まではルートのことについては全然知らなかった。その辺を私にしゃべれと言われても困る」と自らの発言を否定した。

一方、平成15年当時の元柵原町長は「前町長発言は環境アセスメントのルート決定のことだ。環境アセスや測量をし、整備区間に格上げしてルートが決まる。柵原は計画区間なのでルートは決まってい

ない。そのため地元説明もできなかったのだ」と証言した。

ルートが確定しているかどうかについては町執行部の答弁が方向性を失っている。町としての基本方針を示せ。

また、今日まで町の地元説明会が一度も開かれていない点について町の見解を示せ。

答

青野町長

地元説明についてはご指摘の通り町主催の地元説明会は開催していない。

混乱を来していることに、地元調整を担う長として、責任の一端はあり町長としておわび申し上げる。

質問

柵原中学校建設の具体化は

答弁

まずは用地選定を進める

問

昨年12月定例会で、町長は「柵原

ではないのか。

答

柴原教育長

中学校については義務教育学校の検討、小中一貫校の在り方などを研究の上、早期に適地を選定し建て替える」と所信表明したが、教育長は「初めから施設一体型の義務教育学校の設立を目指していき

①町長の意向を踏まえ、どのような学校がいいのか調査検討する。

たい」と答弁した。

②整備検討委員会で1年半かけて議論してきた。新たな組織はまだ考えていないが、任期切れの10月には新たな組織を立ち上げる必要がある。

答

青野町長

言に対して、初めから施設一体型の義務教育学校設立を目指すというのはいかなるものかと思うが、町長方針をどのように具体化するつもりか。

まずは用地の選定を進めることが先決と考える。

子どもたちがよりよい環境で学び、学校を核として地域が再生できるように、夢のある事業として執行部としても取り組む。

子どもたちがよりよい環境で学び、学校を核として地域が再生できるように、夢のある事業として執行部としても取り組む。

学校建設の候補地(5カ所)

候補地	メリット	デメリット
書副地区エイコンパーク内	図書館、多目的グラウンドの利用	進入路400mが坂道
書副ライスセンター北側	地域の目が良く届く	用地協議が必要
南和気の藤田下地区	県道からよく見える	道路の安全整備が必要
周佐地区工場跡地	交通の便がいい	土壌調査が必要
小瀬地区柵原西小付近	安心な登下校の見守り	用地協議が必要



金谷高子 議員

# 質問 人口減少が加速している対策は

## 答弁 人口減少を前提としたまちづくりが必要



地元にとけこむ協力隊

**問** 国が創設した地方創生人材支援制度により、本町には平成30年7月から山本政策推進監が着任され、8カ月と短い期間だが、次のことを問う。

**答** 山本政策推進監  
① 急激な人口減少に耐えられるまちづくり、地域づくり、それ

から行財政基盤づくりが重要である。

② 人口減少のペースは想定より早く、5年程度早くなっており、将来人口の見込みを下方修正するとともに、人口減少を前提としたまちづくりが必要である。現在見直し作業中の振興計画に盛り込むなど、取り組みを進める。

③ 都会で暮らしている人も、田舎暮らしを考えている人もいると思うが、働き方改革で仕事づくりに繋がらないか。

① まちづくりについて必要な視点は、  
② 第二次振興計画作成時より人口減少が加速しているが、対策は、  
③ 都会で暮らしている人も、田舎暮らしを考えている人もいると思うが、働き方改革で仕事づくりに繋がらないか。

③ 町外からの流入を促すためには、人づくりが大変重要な視点である。

# 質問 精神障がい者へも医療費助成の充実を

## 答弁 前向きに検討する



**問** 精神障がい者としての知的・身体障がい者の医療費助成について問う。

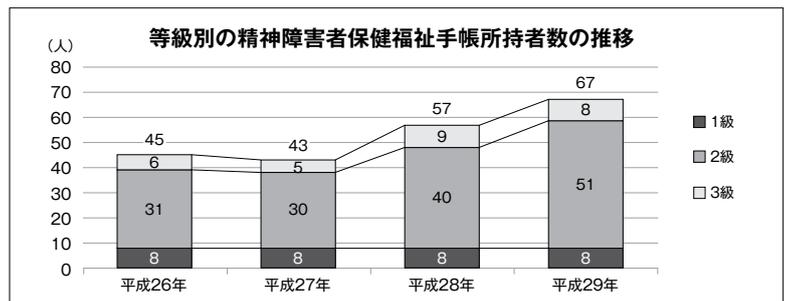
障害者基本法では、身体、知的、精神障がいの障害福祉サービスが一元化された。

しかし、現在の制度では身体障がい者や知的障がい者は内科・外科などの診療費が1割の自己負担であるが、精神障がい者は基本的に3割の自己負担となっている。

障害年金でやっと暮らしている精神障がい者にとって、医療費の3割負担は暮らしを圧迫する。

自治体の医療費の給付制度は、国と違って医学的に病気を治療するためではなく、生活への支え、そして暮らしの中で必要な医療に対しての給付制度だと思っている。

美咲町として、精神障がい者にも医療費助



**答** 青野町長  
成を考慮されないか。

本町では、自立支援医療制度以外の医療費助成は行っていないが、精神障がい者の経済的な自立を支援する観点から、前向きに検討させていただきたい。



山本宏治 議員

## 質問 旭バイパス今後の取り組みは

### 答弁 丁寧な要望活動を続ける



旭バイパスの早期完成を

**問**

旭バイパスは、平成17年頃の開通予定とされていたが、現在江与味地区にトンネルなどができており、全線開通などの期待が膨らむ中、まだまだ整備に時間がかかるように思われる。

今後の予定および町として要望活動についてどのように取り組むのか、明確な答弁を求める。

**答**

青野町長

旭地域において、国道429号旭バイパスの早期開通は最重要課題だ。現在5.5kmの整備区間の内、橋梁4橋、トンネル3カ所が完成、あとトンネル、橋梁共に1カ所ずつ残

っている。岡山県からは、引き続き地元関係者などの理解、協力を得ながら事業を進めるとのことである。

また、期成会として、岡山県、国土交通省、県選出国會議員などに要望活動を行っている。今後も今まで以上に丁寧な要望活動を続けていく。

**答**

前田旭総合支所 産業建設課長

美咲町として直接地権者と協議をすることはないが、地権者への声かけなどを積極的にを行い、町が岡山県との間に入ることで、少しでも早く事業が進むように対応をしている。

**質問**

## 旭地域の公共施設再配置は

**答弁**

### 再整備し利便性を高める

**問**

公共施設については町内全体の問題であるが、旭総合支所周辺整備をどの様に考えていくのか。支所庁舎、町民センター、保健センターなど総合的に計画はできないか。

**答**

青野町長

西川地域に各種施設が集約している、各種のサービスが集約された複合施設に公共施設などを再整備し利便性を高める。

住民の意見を十分に反映させ形を作るつもりだ。

**答**

畑尾旭総合支所長

想定外の災害に備え施設整備も必要である。旭地域の人が集える複合施設を検討してい

きたい。

**答**

前田旭総合支所 産業建設課長

三休公園の老朽化した施設についても修繕計画、再配置を含めた施設の集約を考えていかなければならない。

**答**

光嶋まちづくり課長

町内には古い施設がある。

設が沢山あり、つくりが古いために、地域の中で生活している障がい者や高齢者がとても使いにくいものになっている。

今後、公共施設のあり方を住民と一緒に考えていく必要がある。



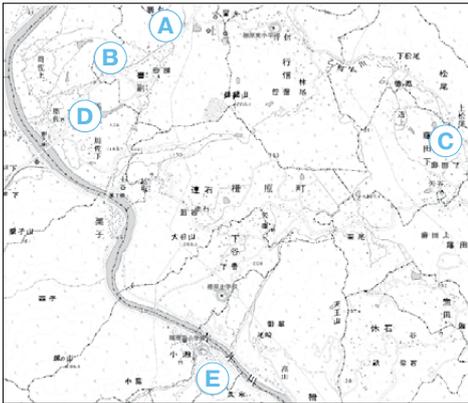
急げ、旭総合支所周辺整備



藤井智江 議員

# 質問 柵原中学校建設候補地の選定は

## 答弁 5カ所の比較検討をしている



5カ所の候補地提案箇所

**問** 7月豪雨でグラウンドが崩落し、通学路は大変危険な状況である。早急な柵原中学校の建設が必要と考えるが、建設地の選定と、今後の予定はどうか。

カ所の候補地について、安全な通学路の確保、緊急時のアクセス、経済性、防災性、利便性の選定要件をもとに、比較検討をしている。今後の予定は、町長の意向を踏まえながら義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進する学校として、地域の教育課題や児童・生徒の実態、保護者などの要望を総合的に勘案し、建設場所、施設形態、費用、教育内容について具体的に調査検討を進める。

**答** 青野町長 柵原地域義務教育学校整備検討委員会で候補地にあげられた5カ所を絞り込んでい

**答** 柴原教育長 書副地区エイコンパーク内①、書副地区ライズセンターの北側付近②、南和気藤田下地区③、周佐地区工場跡地④、小瀬地区柵原西小学校付近⑤の5

場所を決めた上で、今後の方針、計画を持ち、地域に出かけて、きめ細やかに説明する。

# 質問 総合的な健康づくりのため専門職の採用を

## 答弁 総合福祉職として募集を検討

**問** 国民健康保険は社会保障制度として創設され、他の医療保険に加入できない自営業者など対象とされたが現在、全国的に年金受給者、非正規雇用者、無職の人などが多くを占め、世帯の貧困化が進んでいる。

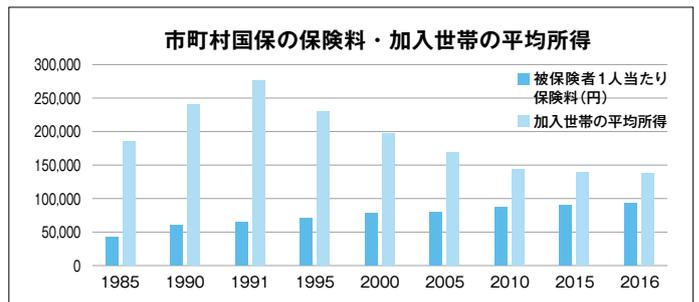
国保税の欠陥とも言える協会けんぽなどない均等割(人数)、平等割り(世帯)が課税され高額になり、納税が困難な世帯が増えている。

均等割は「おぎやあ」と生まれただばかりの赤ちゃんにもかかり、特に子育て世帯の負担が大きいです。せめて0歳児には均等割を賦課しないとか、18才未満の被保険者の均等割を半額にできないか。

また、健康づくりについて住民健診など、努力されていることは理解するが住民の総合的な健康づくりのため

め、理学療法士、作業療法士、心理療法士などの専門職の雇用が必要ではないか。

**答** 青野町長 均等割については、ほかの人の負担になるのでできない。作業療法士、理学療法士のような専門職については、来年度総合福祉職として各種資格を持つている人の募集を検討している。





岩野正則 議員

# 質問 町史編さん資料の活用計画は

## 答弁 収蔵庫の整備をしながら進める



でき上がった中央町誌

**問** 町史編さん室の今後の予定、および町誌に係る資料の保管場所、また、今後の活用計画は。

**答** 赤木生涯学習課長 平成29年度に中央町誌の民俗編を発刊、今年度は地区誌編を発刊した。  
現在は資料編に取りかかっており、その後に通史編の刊行を計画している。完成は32年度を見込んでいます。  
中央町誌の後に美咲町誌の発刊に取りかかり1・2年を見込んでいます。  
資料の活用は、発行後に整理し、展示場所も現在ある資料、収蔵

庫の整備をしながら進める。

**問** 商店街の一角に資料を展示し、町なか活性化への活用ができないか。

**答** 赤木生涯学習課長 町史編さん室、文化財保護委員、文化財研究会なども含め進めていく。図書館の活用も相談しながら進めていきたい。  
**答** 柴原教育長 町史というものは温故知新、古きを尋ねて新しきを知る。様々な手がかりになるのが町史である。学校の社会科の副読本など多角的に検討したい。

# 質問

## 農産物の特産化の取り組みは

### 答弁

### 適地適目を模索し推進する

**問** 農産物の特産化の取り組みについて、ピオーネ、シヨウガ、地酒、ジビエ加工などの取り組み状況と販売額は。また、就労支援の新たな方針はあるか。

いきたい。今後も担い手が育つ農業、新規就農者の確保ができる農業を推進していく。  
額が約1千8百万円。地酒の販売はない。ジビエ加工は調査研究していく。

**答** 青野町長 ピオーネはJAつやまの集荷貯蔵施設が完成し、平成29年度から使用している。出荷は順調に推移して高い評価を受けている。栽培面積、出荷量の増加に向けて後押しをしていく。

**答** 牧野産業観光課長 ピオーネの栽培面積が約43ヘクタール、販売金額が約2億3千万円、シヨウガは約4・2ヘクタールで販売金額が約1千8百万円。地酒の調査研究は調査研究していく。

シャインマスカットと共にふるさと納税の返礼品になっている。収益性の高い適地適目を模索し、推進して



農産物特産化の強化を



松島 啓 議員

# 質問 情報発信で町のイメージアップを図れ

## 答弁 広報の充実強化に努める



地域の未来をデザインする

**問** 町長就任から3カ月が経過した。人の力と絆の深さを生かした町の再生に、町民からの期待は大きい。

特に、情報収集および情報発信は、町の活性化とイメージアップには欠かせない。今後の具体策を問う。

また、平成の大合併に関する自治体アンケート結果で、美咲町は一体感喪失と新聞記事に載っていた。これは、町にとって大変なイメージダウンになったのではないか。

**答** 青野町長  
情報収集は、時事通信社とライセンス

契約し、職員が迅速に行政関連情報を集める環境を整えたい。

情報発信は、FMラジオへの出演、町のCMを作成し、山陽放送で放映する。さらに、4月から増員予定の政策推進監が広報の充実、強化に努める。

**答** 池上副町長

アンケートは、合併当初からの人口減少が、旭地域は3割、柵原地域は2割、中央地域は1割と周辺地域が急激に衰退していることをありのままに答え、それが記事になった。ご理解いただきたい。

# 質問 総合戦略の新たな取り組みは

## 答弁 関係人口の創出に取り組みたい



岡山県内町村人口と2040年人口推計

町村名	人口 (2019.1.1現在)	順位	人口推計 (2040年)	推計 順位
美咲町	14,388	1	8,881	7
矢掛町	14,309	2	9,997	4
和気町	14,284	3	9,461	6
鏡野町	13,024	4	9,221	5
早島町	12,550	5	11,102	1
吉備中央町	11,531	6	7,701	8
里庄町	11,193	7	10,201	2
勝央町	11,111	8	10,008	3
奈義町	5,901	9	4,041	9
久米南町	4,877	10	3,009	10
西粟倉村	1,458	11	1,066	11
新庄村	930	12	596	12

2040年人口推計は国立社会保障・人口問題研究所出典

※関係人口とは…観光以上、定住未滿の関係を創出し、地域の活性化につなげる。交流人口と定住人口の間にある、第3の人口と言われている。

**問** みさき創生総合戦略は、来年度が第1期の最終年度である。地方の人口減少克服、首都圏への人口流出防止が主な目的だが、全国的に達成できていない。本町の現状と、来年度に向けた計画は。

特に人口減少問題は、本町の人口が県内12町村中1番目から、2040年には7番目になるという残念な推計が出ている。2020年度から予定されている第2期総合戦略での新たな取り組みは。

**答** 青野町長  
予想を超える人口激減の要因は、過去

の政策を評価していないこと、中途半端な計画になっていること、取り組みの優先順位が曖昧なことなどである。

地域力の強化、質の高い教育、公共施設の再整備を次期戦略の最重要施策とし、進める。

**答** 山本政策推進監

31年度に、関係人口の創出事業を行いたい。また、第2期の総合戦略で政府は、\*未来技術、人材育成、関係人口の創出、稼げる仕事と働き方、少子化対策、全世代活躍のまちづくりなどをあげている。動向を捉え計画の見直しに役立てたい。

## 美咲町議会議員との意見交換会

### ◆美咲町民生委員・児童委員協議会

平成31年2月15日(金)14:00～16:00 本庁3階大会議室

少子高齢化が進み、民生委員・児童委員の活動のエリアも広く社会状況も大きく変わってきている中、活動状況などについて意見交換を行った。

- 民生委員は40～200世帯に対し、1人が目安であるが見直しが必要ではないか。
- 民生委員の改選があるが受け手がなく難しい。
- 包括支援センターは社会福祉協議会に委託しているが、行政と横の連携が大切である。
- 小地域ケア会議の充実を求める。
- 認知症の人への声掛け模擬訓練をしており、議員にも協力してほしい。
- 地域の見守りが不足している。



地域福祉推進はみんなの力で

民生委員・児童委員さんは地域で困難な問題も多くあり、円滑に活動がなされるよう議会として働きかけていきたい。

### ◆美咲町環境衛生協議会

平成31年2月21日(木)14:00～15:40 本庁3階大会議室

環境破壊が問題となるなか、海ごみへの取り組みとしてマイバック運動の展開、不法投棄を監視するため環境パトロールなどを行う美咲町環境衛生協議会と意見交換を行った。

- 平成29年度からマイバック運動を展開し、31年度は柵原地域へ全戸配布する。
- 環境パトロールの増員はできないか。
- 平成29年度は全地域で不法投棄があり、不法投棄は犯罪なので警察に通報している。
- マイクロプラスチックの海ごみによる環境破壊防止啓発の看板を町内に設置する。



ごみ問題を真剣に

マイバック運動により、ごみ減量化を推進し、不法投棄についても議会として地域に啓発していきたい。

町民の皆さんこんにちは

サークル紹介  
第32回

かるたでつながる



# 「美咲町郷土かるた」を活かす会

## ●いつ頃から活動していますか●

平成28年からです。かるたを通して美咲町の歴史・自然・名所・人物などを紹介し、郷土の魅力を発信したいと思っています。

## ●どんな活動をしていますか●

不定期ですが月1~2回会合をもち、かるた大会の運営や丁合・かるた箱作り・箱詰めなどを行っています。

## ●メンバー構成は●

60~70代の男女25人で活動しています。

## ●活動を始めたきっかけは●

我々の育った地域に親しみや愛着を持ち、美咲町の一体感に貢献したいと思い立ちました。

## ●楽しいことは何ですか●

・たずさわっていて郷土のことがよく分かり、楽しいです。

## ●これからの活動は●

- ・いろんな場所に出向いて「競技かるた」を広めていきたいです。
- ・1箱1000円で販売しているかるたをもっと家庭や地域に浸透させたいです。

## ●議会に一言お願いします●

「美咲町郷土かるた」のPRとともに、町内各地で恒例のかるた大会ができるよう後押しをお願いします。

かるたで笑顔と元気を  
広めてください。

編集  
後記

平成に代わる新しい元号が、「令和」と

決まりました。希望が持てる平和な元号になるよう期待したいと思います。

3月定例会では、副町長、教育長の選任がなされ、県から危機管理担当として政策推進監が着任し、機構改革では新しい課が誕生しました。

町長の所信表明で示された「人輝くまち みさき」「地域が主役のまちづくりに」をテーマとした青野新体制がスタートします。

広報委員としても議会だよりを通じて議会を身近に感じていただけるように、誌面作りに努めて参ります。

(金谷記)

議会広報編集特別委員会  
委員長 左居 喜次  
副委員長 藤井 智江  
山田 雄二  
松田 英二  
金谷 高子